

2010年度 地下プロ全体会議 in 幕張 議事録

日時：2010年5月26日(水) 10:00～15:00

場所：幕張テクノガーデン 東高層館 (D棟 14階) D1403号室

(敬称略)

タイムテーブル

10:00-10:30	全体説明 (谷口)
10:30-10:40	社会経済 (金子)
10:40-10:50	都市地理 (吉越)
10:50-11:00	水 (嶋田)
11:00-11:10	重力 (西島)
11:10-11:20	物質 (小野寺)
11:20-12:00	Model WG (安元)
12:00-13:00	昼食
13:00-13:10	熱 (山野)
13:10-13:40	Data Base (豊田)
13:40-14:10	出版
14:10-15:00	データ公開・今年度会議予定・購入機器扱い・MOU・

Newsletter

19:00- 懇親会 かまどか プレナ幕張店
<http://www.hotpepper.jp/strJ000650374/>

■全体説明 (谷口)

・内容 (配布 ppt 資料参照)

- ・予算は12月中にできるだけ執行していただきたい
- ・プロジェクト終了時に地球研で購入した機材を返却するかどうかを検討してほしい

・質問

- ・PEC 評価のインセンティブはあるのか (嶋田)
- ・地球研の後継プロジェクトとして立ち上がる可能性がある
- ・CR2って何ですか? (嶋田)
- ・Complete Research のこと。二年間は成果発信をサポートできる可能性がある。

■社会経済班 (金子)

- ・内容

- ・最終年度の提案としてフィードバックセミナーシリーズを企画している

- ・質問

- ・国内の東京・大阪へのフィードバックは？（中田）
- ・それはリーダーの仕事になるのでは？（金子）
- ・大阪では松下先生に来てもらいセミナーを開く予定である（谷口）
- ・どのような人たちに向けてのフィードバックがよいか？（谷口）
- ・日本では地下水に対する意識が薄いので、自治体（ステークホルダー）へ地下水に目を向けてほしいというメッセージ的なセミナーを実施するのが良いだろう（嶋田）

■都市地理班（吉越）

- ・内容

- ・補足調査・成果発表（写真集・単行本・論文・発表）・データベースを予定している。
- ・写真について各都市の素材を募集しているのでメンバーに収集をお願いしたい。

■水班（嶋田）

- ・内容

- ・研究発表（ジャカルタ：Kr 測定、誘発涵養）

- ・質問

- ・CFCs より SF6 が精度が高いのはなぜ？推定曲線に原因があるのでは？（谷口）
- ・それもあろう（嶋田）
- ・CFCs 生物分解性が高いからというのが主な理由だろう（梅澤）

■重力班

- ・内容

重力、モデル、これまでの成果と今年度の予定、期待できる成果など。

- ・質問、コメント

- ・重力班の成果をどのように生かしていくのか、ほかの班、SWAT との連携
- ・簡単にデータ解析などはできない。SWAT との統合はモデル班で検討。
- ・涵養量、貯留量の定義は？降雨量から地表水面、蒸発量を差し引いた値は貯留量ではない。その他、細かな推計上の手順。
- ・7都市比較なので、ざっくりとした評価で比較する必要あり。細かい箇所、地域的な問題は SWAT など入れて推計する。
- ・新しい衛星データを用いると解像度がよくなったとのことだが、（発表での）山本さんの GRACE の結果と推計した貯留量のデータが合わない。GRACE の結果は古い衛星データを用いて推計したものか？

- ・新しいバージョンでも合わない。

■物質班

・内容

今年度の計画、社会経済班と統合的な分析について。

・質問、コメント

- ・大阪のテーマに、法整備、社会経済発展と重金属汚染に関する分析を行う。
- ・観測結果の季節変化が大きい。
- ・ジャカルタで長期間にわたってモニタリングする位置づけは、季節変化を考慮するため。
- ・物質班としてのまとめをどのようにするのか。
- ・データの指標化：地下水のキャパに占める汚染物質の割合、および年間フラックスの指標化。指標化を通して、計量的な位置づけをおこなう。

■熱班（山野先生）

・内容

台北シンポジウムと後の浸食状況、海外調査（ジャカルタの再計測）、国内調査の計画、蓄熱量の推計

・質問、コメント

- ・データの取り扱いについて。プロジェクトは今年度で終了なので、終了後にどうするのかをとり決めなければ。
- ・計測に関しては、海外のカウンターパートを通じて引き続きお願いし、5－6年くらい続けたい。
- ・MOU を結んでいるので、フィードバックセミナーのときに、これからの研究協力、MOU を結ぶ？
- ・今年プロジェクトが終わるので、今年中にすることと、プロジェクト終了後にすること、をまとめる。
- ・地下水位はどのくらいなのか？→土壌の水分状況によって異なる。1 mだとほとんど日変化は見えない。
- ・ジャカルタのような雨の高い場所では、分解度がもう少し高いところで
- ・まとめのところ。ステージモデルで蓄熱のデータ。

■データベース（豊田）

・内容

プロジェクトのまとめに向けて、①統合モデルの作成、②データベースの作成・管理、③プロジェクト全体のまとめに関して報告があった。

- ・質問、コメント
- ・②のデータベースの作成・管理に関して、研究成果の公表について議論された。
- ・基本的には、論文に掲載された図表に関しては、2011年3月以降に公表する。生データに関しては、プロジェクト終了の2年後（2013年4月？）から公表する。
- ・都市地理班の収集した生の地図に関しては、基本的には公表しない。
- ・現在公表されている KML file が Shape file から変換されたものか、画像データから変換されたものか確認する。Shape file から変換された KML file は Shape file に再変換される可能性があるため、画像データから変換するようにする。
- ・GIS で整理された土地利用図の利用に関しては、地球研内での利用に関しては 2011 年 3 月を待たずとも利用してもかまわない。

■出版など（谷口）

- ・報告など
 - ・古今書院の章を担当の方は 12 月 26 日午後 15 時以降に読み合わせを行う。
 - ・springer は遅くとも年内には上がる予定。
 - ・写真集は谷口（智）先生の御担当
- ・質問、コメントなど
 - ・写真の枚数が若干足りないため、写真の提供が可能な方は事務局に渡す。
 - ・今年度、海外行く予定のある人は写真を撮ってきてくれると助かる。
 - ・写真集の項目で、こんな項目があればいいというのがあれば提案してほしい。
 - 撮れる時間があれば。
 - 写真についてのコメントを誰にしてもらうかは写真が集まってから決定する。
 - 何年か前の水の写真展の写真は使えるか
 - 著作権は地球研に移動しているので使えます（豊田さんから阿部さんへ）
 - ・プロジェクト成果をまとめた CD の作成をどうするか。
 - プロジェクトが終わったときにさっと渡せるような形で残したい
 - 報告書・図・ニュースレターなどをまとめて入れる
 - ・ニュースレターについて
 - 各班のリーダーが今までのことを書く。
 - 今まで書いた長めの文書はどうするか？
 - 今までのニュースレターをまとめるか or 単独で文書化（本）するか？
 - ニュースレターでまとめることとする。